

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

2030年カーボンハーフに向けた取り組み ～今、わたしにできること～

●暑くなる地球

2023年・2024年、日本の年平均気温が2年連続で最も高くなりました。また、もう暑い(一日の最高気温が35℃以上になる日)が観測された場所も、これまでで一番多くなりました。地球温暖化が関係していると考えられる大雨による水害や、かんばつがふえています。



大雨による水害の様子



かんばつの様子

地球温暖化が進むと、わたしたちの生活にどのような変化があるかな。



●カーボンハーフに向けた取り組みを進めよう

地球温暖化の問題を解決するために、東京都は、2030年までに二酸化炭素などの温室効果ガスを2000年とくらべて半分に減らす「カーボンハーフ」という目標を掲げています。

この目標を達成するために、社会全体で、様々な取り組みが進められています。



それぞれの取り組みは、なぜ二酸化炭素を減らすことにつながるのかな。

自分でできること



電気を大切に使う

- ・使わないときは電気を消す
- ・冷だんぼうのセット温度に気をつける



水を大切に使う

- ・水道をこまめに止める
- ・せんたくやそうじに、おふろの残り湯を使う



3Rを心がけ、ごみをへらす

- ・ごみとしげんを分別する
- ・マイボトルやエコバッグを使う



食品ロスを減らす

- ・食べ物を買いすぎない
- ・残さず食べる



い動の工夫

- ・近所へは徒歩や自転車で行く
- ・バスや電車などをこまめに使う



今日からできることを見つけ、行動していこう。

家族と話し合えること



●植物を育て、緑化を進める



●省エネ家電を利用する



●住たくの断熱化をする



●家で使うエネルギーに、さい生かのうエネルギーを選ぶ



●地元でとれたものを選んで食べる(地産地消)



グリーンカーテン

太陽光パネルをつけた家

社会全体でできること

●さい生かのうエネルギーの利用をふやす

●走るときに二酸化炭素を出さない電気自動車やねん料電池自動車をふやす

●使いすてプラスチックの利用をへらし、さい生プラスチックの利用をふやす

●二酸化炭素を出さないビルをふやす

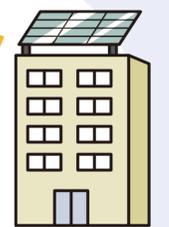


じゅう電をする電気自動車



二酸化炭素を出さないビル

- 省エネルギー化
- さい生かのうエネルギーの利用
- 建てつ時に出る二酸化炭素の量をへらす



考えてみよう・・・

カーボンハーフに向けた取り組みの中で、自分にできることや家族と話し合えることには、どのようなものがあるか、考えてみましょう。

調べてみよう

「エコアクション」について調べてみよう!

【東京都環境局】
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/kids/eco-action>



地球の環境を守るための行動を調べよう。



「脱炭素」に向けた社会づくり

【広報東京都こども版】
<https://www.kodomokoho.metro.tokyo.lg.jp/article/202406-1/>



脱炭素社会について調べよう。

